

問1 豊臣秀吉が実施した「太閤検地」が、当時の社会や農民に与えた影響についての説明として正しいものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 一つの土地に対して一人の耕作者（農民）を確定させたことで、荘園領主などの古い権利が否定された。 | 2. 土地の所有権が武士に移されたため、農民はすべて小作人として武士に仕えることになった。 | 3. 検地によって得られた情報をもとに、すべての農民に苗字を名乗ることや帯刀することが許可された。 | 4. 土地の売買が完全に自由化されたため、有力な農民が多くの土地を買い占めて地主となった。 |
|--|---|---|---|

問2 1588年に出された「諸国の百姓が刀、脇指（わきざし）、弓、やり、鉄砲、そのほかの武具を持つことをかたく禁止する」という法令に関連して、この政策の名称と実施した人物の組み合わせとして正しいものを選択してください。 (2022年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------|-----------------|--------------|--------------|
| 1. 徳川家康による武家諸法度 | 2. 織田信長による楽市・楽座 | 3. 豊臣秀吉による刀狩 | 4. 足利義満による検地 |
|-----------------|-----------------|--------------|--------------|

問3 織田信長が安土城下で出した法令の要約において、「この場所を楽市とし、これまで存在した『座』の特権を廃止し、さまざまな税や労役を免除する」という主旨の内容が記されています。信長がこのような政策を行った主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------------|--|----------------------------------|--|
| 1. 商工業者から高額な税を徴収し、全国統一に向けた軍事費を確保するため | 2. 寺社や公家の勢力を強めることで、古い慣習に基づいた流通網を維持するため | 3. 城下町に住む人々を農業に専念させ、食料生産を安定させるため | 4. 特権的な団体の独占権を排除して自由な取引を認め、商工業を発展させるため |
|--------------------------------------|--|----------------------------------|--|

問4 16世紀に行われたマゼランの船団による世界一周の航海が、当時の人々の知識や世界観に与えた科学的な影響として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 愛知県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|--|
| 1. 地球が球体であることを、実際の航海によって実証した | 2. アフリカ南端の喜望峰を経由してインドへ到達する東回り航路を確立した | 3. 地球が太陽のまわりを公転していることを、天体観測で証明した | 4. アメリカ大陸はアジアの一部ではなく、独立した大陸であることを初めて発見した |
|------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|--|

問5 1590年に豊臣秀吉が小田原の北条氏を滅ぼし、奥州を平定して天下統一を成し遂げた時期の文化的な出来事として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 愛媛県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------------------|------------------------------------|---|---------------------------------------|
| 1. 千利休が、質素な美しさを尊ぶ「わび茶」の作法を大成させた。 | 2. 雪舟が、中国の技法を取り入れ、独自の日本の水墨画を大成させた。 | 3. 近松門左衛門が、義理と人情の葛藤をテーマにした人形浄瑠璃の台本を書いた。 | 4. 小林一茶が、農民の生活や生き物への慈しみを詠んだ俳句を数多く残した。 |
|----------------------------------|------------------------------------|---|---------------------------------------|

問6 織田信長が安土城を拠点としたのに対し、その後を引き継いだ豊臣秀吉が、天下統一の拠点として近畿地方の交通の要所に築いた城はどれか。 (2025年 北海道公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 大坂城 | 2. 姫路城 | 3. 安土城 | 4. 江戸城 |
|--------|--------|--------|--------|

問7 16世紀のヨーロッパにおいて、ドイツのマルティン・ルターがカトリック教会の腐敗を批判し、聖書のみを信仰のよりどころとするよう説いて始まった一連の運動を何といいますか。 (2020年 京都府公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|--------|----------|
| 1. 宗教改革 | 2. 産業革命 | 3. 十字軍 | 4. ルネサンス |
|---------|---------|--------|----------|

問8 16世紀のヨーロッパでは宗教改革が起こり、キリスト教のあり方が大きく変化しました。この時期に設立されたイエズス会の宣教師たちが、日本を含むアジア各地で積極的に布教活動を行った理由として、最も適切なものを選択してください。 (2019年 広島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 江戸幕府による朱印船貿易の制限に対抗し、キリシタン大名と協力して新しい貿易ルートを独占するため | 2. 鎖国体制下の日本において、キリスト教の教えと日本の伝統的な仏教を融合させた新しい宗教を創るため | 3. ヨーロッパで勢力を拡大していたプロテスタントに対抗し、海外でカトリックの信者を増やして勢力を立て直すため | 4. ポルトガルやスペインの軍勢力を背景に、武士の特権を廃止してヨーロッパ型の封建社会を日本に導入するため |
|--|--|---|---|

問9 戦国時代に伝来した鉄砲が当時の社会や軍事に与えた影響について、適切に説明しているものはどれですか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 豊臣秀吉による刀狩が全国で完了するまで、鉄砲が農村に普及することとは一切なかった。 | 2. 鉄砲は堺の商人が独占的に所有したため、戦国大名が組織的に合戦で用いることはなかった。 | 3. 鉄砲の普及により、防御力を高めるために城の造りが変化し、石垣や厚い壁を備えた堅固な城が築かれるようになった。 | 4. 鉄砲の威力は限定的であったため、従来の騎馬隊による突撃が引き続き合戦の主役であり続けた。 |
|--|---|---|---|

問10 鎌倉幕府の支配を盤石にした北条義時と、天下統一を成し遂げた豊臣秀吉の政策について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2022年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 北条義時は源頼朝から実権を奪って執権となり、豊臣秀吉は廃藩置県を行って中央集権化を進めた | 2. 北条義時は応仁の乱を鎮めて幕府の権威を回復し、豊臣秀吉は刀狩によって自らの軍勢力を強化した | 3. 北条義時は承久の乱後に朝廷への統制を強め、豊臣秀吉は兵農分離を進めて社会を安定させた | 4. 北条義時は地租改正を行って財政を安定させ、豊臣秀吉は北条氏を滅ぼして鎌倉に幕府を開いた |
|---|--|---|--|

問11 大航海時代の探検家の活動について述べた文として正しいものを、次の中から選びなさい。 (2021年 京都府公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. マゼランの一隊は、アフリカ大陸の東岸を北上し、日本に到達してキリスト教を伝えた。 | 2. ポルトガルのバルトロメウ・ディアスは、大西洋を横断して現在のブラジルを発見した。 | 3. ポルトガルのヴァスコ・ダ・ガマは、喜望峰を経由してインド洋を渡り、アジアへの直接航路を確立した。 | 4. スペインの支援を受けたコロンブスは、西回りの航路でインドへ到達することに成功した。 |
|---|---|---|--|

問12 16世紀にドイツのルターらが「聖書に書かれていることのみを信仰のよりどころにすべきだ」と主張して宗教改革を始めましたが、これに対しカトリック教会側がとった行動とその目的について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 教皇の権威を高めるために十字軍を組織し、イスラム勢力から聖地を奪還した。 | 2. ルターの考えに賛同し、聖書をドイツ語などの各国の言葉に翻訳して普及させた。 | 3. 免罪符（贖有状）の販売を停止し、キリスト教以外の宗教との共存を目指した。 | 4. 組織の立て直しを図るためにイエズス会を結成し、海外への布教を積極的に行った。 |
|---|--|---|---|

問13 戦国大名の織田信長が、道づくりに力を入れるとともに、各地に設置されていた「関所」を廃止した主な目的は何ですか。肖像画が残されている信長の、経済政策としての側面から説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2022年 山口県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------|
| 1. 領国内の流通を活性化させ、物資の往来や商業を盛んにするため | 2. 調や庸といった税を、地方から都へ効率よく運ばせるため | 3. 西廻り航路を整備し、日本海側の特産品を大坂へ運ぶため | 4. 欧米の進んだ文化やキリスト教を積極的に導入するため |
|----------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 一つの土地に対して一人の耕作者（農民）を確定させたことで、荘園領主などの古い権利が否定された。	太閤検地が行われる以前は、一つの土地に対して荘園領主や地頭など、複数の人物が権利を持っている複雑な状態でした。秀吉は「一地一作人の原則」によって、実際に耕作する農民一人だけを土地の持ち主として認めることで、中世から続いていた複雑な荘園制を完全に解体し、近世的な支配体制を確立しました。
問2	答え 3 豊臣秀吉による刀狩	豊臣秀吉は、全国の百姓から武器を没収する「刀狩（刀狩令）」を行いました。この法令は、百姓が武器を持って一揆を起こすことを防ぐとともに、農業に専念させることを目的としていました。これにより、武士と百姓の身分を明確に区別する「兵農分離」が進むこととなりました。
問3	答え 4 特権的な団体の独占権を排除して自由な取引を認め、商工業を発展させるため	中世の商業は「座」と呼ばれる特権団体が市場を独占し、その見返りとして寺社などに税を納める仕組みが主流でした。信長は安土城下などでこの「座」の特権を廃止し、市場の税（関銭など）を免除する「楽市・楽座」を実施しました。これにより、新興の商人が自由に商売を行える環境を整え、城下町の経済を活性化させることで、自身の経済基盤を強化しようとした。
問4	答え 1 地球が球体であることを、実際の航海によって実証した	マゼランの船団が西へ向かって出発し、最終的に反対側の東から出発地へ戻ってきた事実は、古代から唱えられていた「地球球体説」を物理的に証明する結果となりました。これにより、それまでの平面的な世界観が打破され、地理学や航海術が飛躍的に発展するきっかけとなりました。なお、東回り航路を確立したのはバスコ・ダ・ガマであり、マゼランの功績とは区別する必要があります。
問5	答え 1 千利休が、質素な美しさを尊ぶ「わび茶」の作法を大成させた。	豊臣秀吉が天下を統一した安土桃山時代の文化は「桃山文化」と呼ばれます。この時代には、大名の権威を象徴するような豪華な城郭が築かれる一方で、千利休によって精神的な静けさや簡素な美を重んじる「わび茶」が完成されました。雪舟は室町時代、小林一茶や近松門左衛門は江戸時代の文化を代表する人物であり、時代背景が異なります。
問6	答え 1 大坂城	豊臣秀吉は、水上交通と陸上交通の結節点であった大坂の地に巨大な城を築き、政治と経済の中心地としました。ここを拠点に全国の諸大名を服従させ、統一事業を完成させました。
問7	答え 1 宗教改革	ルターは、当時のカトリック教会が免罪符（贖罪状）を販売して資金集めを行っていたことを批判し、キリスト教の本来の姿に戻ることを訴えました。この運動はヨーロッパ全体に広がり、カトリックから離脱したプロテスタントと呼ばれる新しい宗派が生まれるきっかけとなりました。
問8	答え 3 ヨーロッパで勢力を拡大していたプロテスタントに対抗し、海外でカトリックの信者を増やして勢力を立て直すため	16世紀、ヨーロッパではルターやカルバンによる宗教改革が起こり、プロテスタントの勢力が急速に拡大しました。これに対し、カトリック教会側は自己改革を行うとともに、アジアや中南米といった海外への布教を通じて信者を増やし、教会の勢力を回復しようと考えました。この目的のために設立されたのがイエズス会であり、フランシスコ・ザビエルなどの宣教師が日本を訪れる背景となりました。
問9	答え 3 鉄砲の普及により、防御力を高めるために城の造りが変化し、石垣や厚い壁を備えた堅固な城が築かれるようになった。	鉄砲という強力な遠距離武器が登場したことで、従来の木柵や簡易な土塁だけでは防御が困難になりました。そのため、敵の射撃に耐えうる厚い土壁や、高い場所から狙い撃つための高層の天守、広大な石垣を持つ城郭へと構造が進化していきました。
問10	答え 3 北条義時は承久の乱後に朝廷への統制を強め、豊臣秀吉は兵農分離を進めて社会を安定させた	北条義時は、承久の乱で後鳥羽上皇を隠岐へ配流し、朝廷に対する幕府の優位を決定づけました。一方、豊臣秀吉は刀狩や検地を通じて、武士は城下町に住み農民は村に住むという兵農分離を完成させ、近世社会の基礎を築きました。他の選択肢にある応仁の乱や廃藩置県、地租改正は時代背景が異なります。
問11	答え 3 ポルトガルのヴァスコ・ダ・ガマは、喜望峰を経由してインド洋を渡り、アジアへの直接航路を確立した。	ヴァスコ・ダ・ガマはポルトガル王の命を受け、バルトロメウ・ディアスが到達していた喜望峰を越えてインドへ到達しました。一方、スペインが支援したコロンブスが到達したのはカリブ海の諸島であり、マゼランの一隊は世界周航を成し遂げましたが日本へのキリスト教伝来とは直接の関係はありません。
問12	答え 4 組織の立て直しを図るためにイエズス会を結成し、海外への布教を積極的に行った。	ルターらによるプロテスタントの動きが広がると、カトリック教会は内部から改革を行い、勢力を回復させる必要に迫られました。その中心となったのがイエズス会であり、彼らはヨーロッパ内での布教だけでなく、アジアなどの海外へキリスト教を広める活動を展開しました。これが後のフランシスコ・ザビエルによる日本へのキリスト教伝来にもつながっています。
問13	答え 1 領国内の流通を活性化させ、物資の往来や商業を盛んにするため	織田信長は、自身の領国内で人や物の動きを制限していた関所を撤廃することで、商工業を活性化させようとした。これは「楽市・楽座」などの政策とも深く関連しており、特権を持つ寺社や公家の経済的基盤を弱めると同時に、自領の経済力を高めて戦国大名としての勢力を拡大させる狙いがありました。